

寄書

工業界の 現状を打破せよ 稲竹電生

吾人の國は實に大海の一粟に過ぎず而して國家の生命とせる所は之れ實業にあらざるや然かも今や耕するに土地なく山を削りて河を埋め七千萬の民猶ほ生活難の聲を叫ぶ所以は之れ畢竟するに産業の發展を圖らざるに基因するなり然らば産業の發達を計らむには如何にせば可なるか即ち工業を盛に起すにあり、而して工業の發達を計らむには商業の賑盛を企圖せざるべからず、然るに悲しいかな吾が商業は歐米に比較すれば甚だ幼稚たるを免れず此故に國家の富強と社會の文明とを圖らむとせばよろしく工業界に眼を注がざるべからず然るに我國の現状を見るに工場主なるものは甚だ學術なきに關らず技術之しきにも

□募集 文藝其他一般投稿を歓迎します

顧みず自己工場主たる權能を以て或は感情に依り或は利害に依つて専門家技術家を遇するは命令を下して技術者の有する技術を發揮するを止めしめ甚だしきに至つては誤りたる確信を以つて技術と衝突するに至る者あり、されば工場を分ちて技術者と經營者とを各獨立せしめて各自に責任を以つて立たしめば歐米の如く順に發達するに至らん、又今日我國に於ける工場を見るに甚だ振興せざる所以は技術家に對して社會があまり冷淡なるに依る事と工場主が一傭人を以つて冷視し無限の權利を濫用するに依る事なれば技術家たる者は自己のため奮起一番せざらん事を囑望す依て投稿す

大谷石

本月十五日より産地約一割五分値上斷行の處當社現在持合分に限り値上前の値段にて差上可申此際至急御下命被下度候

這般震災地未曾有の大試験に於て「フルマーク」を以て通過したる我大谷石は耐火、耐水、耐寒、耐壓、耐碎且吸水量最少なく加工容易なる等有らゆる點に於て他石材の遠く及ばざる處最早世界無比の榮冠を戴くに至れり

最近彼の有名なる「ライト博士」が實用裝飾兼備の良材として「帝國ホテル」を之を以て築き上げたる蓋偶然にあらず斯くして今後需要激増に伴れ益々値上の趨勢に在り何卒茲旬日に迫る絶好機を逸し賜はず御買上の程願上候

磐城建物株式會社

平五丁目 電話五一八番

移轉廣告

十一月廿六日より左記新築營業所へ移轉致し候間倍舊の御同情を賜り度奉希上候

平町二丁目二十八番地 株式會社 第百七銀行

平支店

電話三二八番

松島水上養魚場の養殖したカキ貝の取次店を開始しました極めて廉價に販賣しますから御最良の程願ひます

カキフライ一枚廿錢

カフェー タヒラ

平町紺屋町住吉屋本店前

製材機械、人魚印丸鋸 自動注油メタル、プリーリー在庫 ゴムベルト、バラタベルト

平町月見町

佐藤鐵工所

電話三六二番

株式買中値

左記の値段は本日の標準値に付御用の節は御問合願候

Table with 2 columns: Company Name and Price. Includes entries like 磐城銀行 (500), 平銀行 (500), 磐越銀行 (125), etc.

丸登株式會社

平町田町電話三三二番 川添房二郎

一部金貳錢 月極 二限リ一ヶ月卅錢 料告廣 五號十三字詰 一行五十錢 日刊休 曜 大祭 祝日の翌日 所刷印 福島縣石城郡平町 田町十六番地 磐城新聞社印刷部 編輯兼 印刷人 川崎文治

發行兼 印刷人 川崎文治 所行發 福島縣石城郡平町 字長橋町川五番地 常磐毎日新聞社



十一月廿七日夕刊

余の一日 (七)

社長 川崎文治

余が難事業中の難事業である新報社經營に終生を捧げやうとして奮起した決意の出発點も此與奮勵の鞭達に依る事大である、即ち選り遂げ得る確信は與奮勵の齎らした結果である 余は最も執着の力強かつた酒を完全に征服する事に出た勇者である、自覺する場合に於て激測たる勇猛心が余の体軀に漲り溢るゝを感得せず居られぬ、斯くて余は眼中何ものにも類はざる、處なく遮二無二

苦難を突破すべく勇往邁進する事が出来る、此確信が余に對して一社一人主義の許に強く正しく赴く處迄赴かしむる素因を爲したのである、故に余は今後全く本社と運命を共にしなければならぬ、本社の經營は余の生命とする處である、余は命がけで本社の基礎に盤石の強みを加ふべく絶え間なき努力を續けねばならぬ、常に緊張其ものと成つて事業の達成を圖る事が余の生命である 余は未だ年齡三十に滿ちず前途尚ほ春秋に富むまだまた人生の行路は永い、今

賦課案の査定方針

平町の戸數割修正に關し

委員長吉田禮次郎氏の談

平町に於ける本年度後期賦課案は既記の如く委員會の修正案通り可決確定を見たが右に關して委員長吉田禮次郎氏は語る『是れ迄當局の提案は調の餘日なく徹背審議に従事した苦勞は決して容易ではなかつたが今圓は十日間の餘日を殘した爲め巨細に調査する事の出來た事は町民と共に喜びに耐えぬ次第であつた、委員會の査定方針としては

▲勤勞處得者と資産處得者との區別を爲し資産處得者に對しては定率より見立割を増額したること
▲處得額の申告遺漏を認むるものには常識判により見立割を附する事
▲處得額に對比し生活状態の向上し居るものには見立割を附する事
▲處得年三百圓内外の者には努めて見立割を附せざる事
▲兵役義務者の家庭には見立割を減免する事

以上の見地から努めて賦課の公平を期し町民多數が氣持ちよく納税し得べき様修正を加へた次第であつた』

此寒空に野宿して

漂ひ歩む幼い兄妹

母親に逢ひたい一心から

警察署員も涙に咽ぶ

去る廿四日午後五時頃吹雪荒む西風に曝されて石城郡植田町警察署前に悄然と佇む少年があつた、見れば妹二人の手を引いて背には當歳位の嬰兒を負ふて居る外、伴の者どもも無い暮るに早い冬の日は遠慮無く四邊を闇に包んで行くが立去らうとしない、折柄通り合した署員が不審を抱き署内に入れていく、さういふたはりつ、尋ねると始めて我に返つた少年は張り詰めた氣も緩んだかしてワット泣き崩れ兄弟三人涙と共に次の如く語つて署員迄も貫ひ泣きをさせられた、少年は橋本義雄(二五)と呼び父は本郡

◇窪田村 大日本炭礦

勿來坑々夫橋本權次郎(五〇)母キイ(四七)と、炭礦稼中夫婦となれるも權次郎は白酒の上の酒癖悪き爲嫌氣を増し夫の意見は仇となし、打擲され子の愛に引かされて各炭礦を轉々し昨年川部村廣部坑居住、際も恚うした事より離縁状と共に且離縁され心を鬼に歸郷したが子が思ふキイは再び舞戻り

◇近隣の 人々を頼んで漸く復縁、勿來坑に轉じて同棲し居たが又々飲酒と亂暴を續け去る八月耐に兼たキイは薄幸な身の上で子供行末を案じ乍らと郷里仙臺市に歸つて了つた其後義男の處へ寄越した手紙に『若成長したら仙臺市南銀治町の伯母を尋ねよ』とある

小名濱の漁船が

木ッ羽微塵に打碎かれ

危ふかつた漁夫十名の命

平瀨救濟會員に救はる

石城郡小名濱町漁業家御代治介所有漁船大久丸は去る廿四日の眞夜中十二時頃船長柴清外九名の漁夫乗組み川尻沖合に出漁中暴風雨に逢ひ平瀨灣指して避難の途に中同灣から約十五町沖合にて激浪に翻弄され船体の自由を失ひ沿岸の岩石に衝突して船体は木羽微塵に打碎かれ乗組員危急に迫つた折柄之を知つた平瀨救濟會員井名出動救護に努力し幸ひ一名の怪人も出さなかつたが船体は全く使用に耐へざる程に大破し損害約二千圓位であると

急行列車の

二等客頓死

平驛に收容

廿七日午前一時五十四分平驛に到着すべき急行列車の乗客中名古屋市中區西榮町高須毛布合資會社代表社員

大賭博發覺

十四名の一座

石城郡渡邊村大字上釜戸村齋屋百光長男馬馬(二四)が他家の筈笥を破つて衣類を窃取し是れを入質し其金を賭博に費消した旨自由した爲め足が着いて同郡湯本町入山炭礦の坑夫小野寺安(一九)を始め

武藤仁藏(五二)阿部徳家(四一)佐久間忠三(四三)岩崎惣三郎(二五)齊藤權四郎(三四)岩崎惣次郎(二二)大田興作(一九)小野寺一郎(五八)住谷定之助(二七)高橋新太郎(一九)仲島金次郎(六〇)鈴木長士(二二)

等が十五回に互り花合賭博を開帳せる事發覺平署にて島田警部補取調中

眞性慾問題

眞性慾問題

帯を解いた女、姿、診察臺の上に置かれたる下腹部と腿、而して觀察すべき對象

安にあり得べからざる光景の中に、冷然たる醫學者の心境を想へ、科學に感情はない。婦人科醫が陰唇を見、陰の内面を見、子宮を見、或は手指を陰に挿入して子宮に觸れるのは内科醫が胸に觸れ、腹部に觸れるのと何の差別もない。人は隠されたるが爲めに見ん事を欲するのである、見るに慣れざるために神秘視するのである、若し白日の下に之をまた面に見る事が人生の風習となつたとしても、世の中は之がために格別な難になる惧は決してない筈である。巴里にロダン美術館があつて此の巨匠の作品を集めてある中に、女が股を開いて臥てる像がある、然も眞を寫して精細を極めて居る、藝術眼から見れば是れしきの寫實は何んの憚る處もないのであらう、藝術家が股間の秘境を題材とするのと醫學者の性器解剖とは信念の上に異りはない(續)

常磐片々

草部順平氏の進退問題圓滿に解決

當然過る程の當然だ

○ 贓品入質から足がついて十四名の大賭博發覺、悪い事は出來ぬ

○ 大酒呑の父を持つた因果な兄妹が此寒空に野宿、鬼の目にも涙なきを得ない、酒が敵か……

進退問題

圓滿解決した

白井一郎氏監督に就任

草野順平氏は縣會議員に當選後其身邊に毀譽紛々程の中心人物として疑はれつゝあつたが此程同氏は自己の出處進退が極めて機宜を失

二等車頓死体を乗せて走る無氣味な汽車旅行

○ 舟が微塵に碎かれても一人の怪我人なし、天祐か、要するに世相は様々、

○ 草野順平氏の

し岳父白井代議士其他の苦衷を裏切つた不明の罪を陳謝し將來政界に於ては飽迄代議士の政見を綱領として終始すべきを契ひ父子相互間圓滿諒解の下に從來通り磐城銀行支配人として行務に携はる事となつた爲め同銀行にては更らに此際を一轉機として行務の躍進を期すべく少壯實業家を以つて目せられつゝある代議士の嗣白井一郎氏を新たに同銀行監督として迎へ就任を見るに至つた

得税、畑租及雜租税の納期である爲め未納督促中である

○ 勤勞者表彰式

石城醬油醸造業組合にては本日午後三時より平稅務署にて總會を催し第四回勤勞者表彰式を舉行し更らに午後五時から住吉屋本店にて懇親會を催す由

本年七月迄に各處に於て十數件の窃盜を働き廿六日白井判事から懲役二年言渡さる

○ 平町人事

▲出生

△才隨小路 阿部政右工衛
△四男千秋
△四丁目 丸山喜一郎二女
△四丁目 阿部築藏長女英子

▲死亡

△杉平 神長倉三男(二二)
△三丁目 當時石城郡窪田村大字窪田比佐清一(二二)

△新川町 山下五郎(二二)
△新川町 萩谷誠(二二)
△長橋町 遠藤林一(二二)